



— 高御座(左)と御帳台(右) —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

# 社報あそみや

令和元年11月1日

第 75 号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

## 奉祝令和の御大典

阿蘇神社

宮司 大 島 大 明

天皇陛下は五月一日、劍璽等承継の儀を行われ、第一二六代天皇の御位にお即きになりました。平成から令和に改まった元号もすっかり定着したように感じます。

十月二十二日には国内外に即位を宣言する「即位礼正殿の儀」では、古式床しき御束帶をお召しになり、高御座にお登りになり、お言葉を述べられました。

また十一月十四日の夕刻より翌十五日には、大嘗祭が行われます。

### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつき、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそむこと  
一、世のため人のために奉仕し、神のみこともとして世をつくり固め成すこと  
一、大御心をいただきてむづび和らぎ、国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

特別に造営された大嘗宮で行われる祭儀は、天皇即位時の重儀とされています。悠紀田・主基田という国内を代表する斎田で収穫された米を神饌として神々に供え、その神饌を神々と共に召し上がり心身共に眞の天皇になられます。

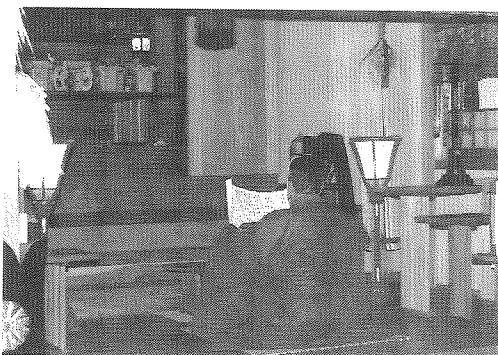
歴代の天皇陛下は、常に国民の安寧と世界の平和を祈り続けていらっしゃいます。令和の御代が幾久しく平穏でありますよう、私たちも共に祈念したいものです。

令和元年の例大祭は、一連の大礼を奉祝するとともに、今般実施した「御本殿洗浄塗装工事」の終了奉告を併せての祭典として斎行されました。

先ず御本殿の御簾をかかげ、神饌と神社本庁よりの幣帛料が神前に供えられました。次に宮司が御神徳を称えるとともに、百二十六代天皇陛下の御即位を奉祝するとともに、御本殿洗浄塗装工事の終了を奉告、併せて氏子崇敬者の平穏無事と更なる御加護を祈念する祝詞を奏上しました。

去る十月十五日に阿蘇神社例大祭（御鎮座四八年）が斎行されました。

御大典奉祝  
御本殿洗淨塗装工事終了  
令和元年の例大祭を斎行!!



### —宮司の祝詞奉上—

次に巫女が笛太鼓にあわせ神樂舞を奉納、その後宮司以下参列者の代表が玉串を捧げて拝礼を行いました。最後に御神前の御簾を下ろし令和元年の例大祭を恙なく終了しました。

次いで御代替わりを奉祝し、全員で神宮並びに皇居の遙拝を行いました。



## —巫女による神楽舞の奉納—

淨財を寄進された方、向拝殿の参拝者用鈴の緒を奉納された方、また祭礼用の大幟を奉納された方々に感謝状が贈呈されました。

向拝殿の参拝者用の大鈴は、汚れを落とし金箔を施しましたので光り輝いています。ご参拝の折に是非ご覧下さい。

◎感謝状贈呈者御芳名

(株)ききつ青果  
系販商名

慈惠病院

德永建設(株)  
中村医院



## —感謝状授与式—

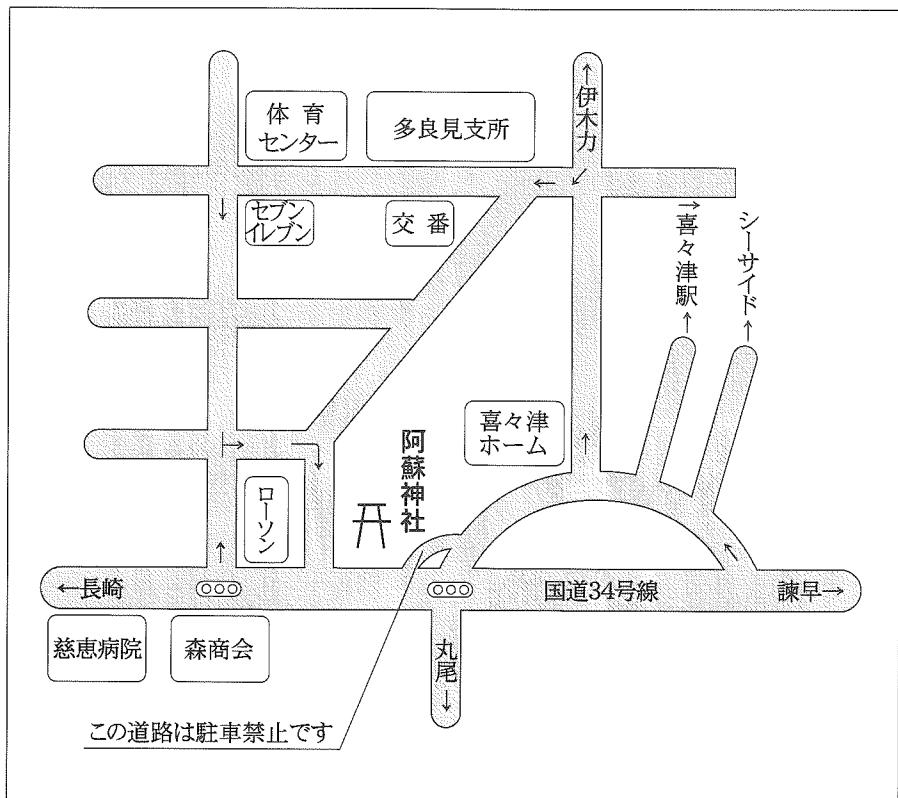
◇神社大嘗奉納	森 誠司 殿	松尾 義光 殿
(有)森 商会	森 誠司 殿	村瀬 雄四郎 殿
株石橋工業	石橋 ゆかり 殿	
レッカーセンター三根	三根 貴裕 殿	

山越 岩本 護殿 悟殿  
松尾 義光 殿 殿  
村瀬 雄四郎 殿



# 七五三詣は阿蘇神社へ

男女三才を『髪置』、男児の五才を『袴着』、女児七才を『帯解』または『紐解』と称し、いずれも子供の健やかな成長を願う行事です。ご家族お揃いでご参拝下さい。



お正月に巫女としてご奉仕できる  
**(大学生)**を募集しています。

募集人員 四名

期間 十二月三十日(木)~一月七日

詳細は神社迄お尋ね下さい。

おしらせ

☆受付時間 午前十時～午後三時  
これ以外の日時にご参拝予定の方は、お手数ながら事前に予約をお願いします。  
☆駐車場には限りがございます。  
乗り合わせてお越し下さい。